

卒業生による受験ガイダンス

(2010年4月24日(土)午後、301教室)

共通点 志望大学・学科を早期に決めて、やる気につなげること。
生活を規則正しくして、睡眠もしっかり取ること。
英語に力を注ぎ、単語力の強化に取り組んだこと。
授業を軽視せず、生かしたこと。
判定が悪くても、最後まであきらめず頑張り続けたこと。
今は、少しでも早く受験勉強を始めること。

この春卒業した女子学生(立教大学観光学科)

一年間の流れについて話したい。一学期にやるべきこと。大学を早く決めること。なぜなら大学によって傾向が違う。中国史が出たり、全然出なかったり。決めたら、友だちや先生に言いましょう。そうすれば、周りの人が様々な知識をくれたりします。親とも話しあってください。私は親と相談するのが遅れて、ちょっとけんかしました。オープンキャンパスにたくさん行きましょう。学生が化粧しているかどうかなど、入ってから知ると困るかもしれません。予備校に行くのもいいと思いますが、見学や体験をして、自分にあうところを探してください。それと、学校で寝てしまってもいけないので、両立できるかどうか考えください。手帳を持って、計画をよくたてていました。この日はこの科目を勉強しようとか、実績も書いておけば、どの科目をいつ勉強するといったかなどもわかります。すきまの時間を大切にしましょう。単語カードなどを作っておくといいでしょう。夏休みには私も予備校に行きました。その他冬や、週1回は行きました。ライバルの様子もわかって、刺激になりました。東大などを受験する人の様子も参考になります。秋には推薦受験もしましたが、結果はダメでした。小論文を書くのに、予備校の自習室などが役立ちました。小論文の勉強は、今大学に入っても役立っていると思います。12月に入ると一日8時間くらい勉強していました。量よりも質が大切だと思いますが、私は規則正しい生活、睡眠もきちんと取り、質も落とさずに勉強できたと思います。図書室の赤本や青本は役立ちました。図書室は役立ちます。3学期は毎日図書室を使っていました。大学では聖歌隊に入って、楽しく生活しています。入学前も、大学に入ったらこれをしようなどと考えると、やる気が出ます。大学では、自由に自分の時間割が作れます。満足できる生活ができるように、今頑張ってください。大学の名前で選ばずに、本当に勉強したいことを考えて学期を選んでください。受験する大学は、系統をそろえてください。12月でも立教大学はE判定でした。でも、あきらめずに頑張りました。

この春卒業した女子学生(東京女子大学現代文化学部)

私は夏休みに受験勉強しようと思ったが、実際には秋から始めた。その点からいっても、なるべく早く受験勉強を始めてください。とくに、英語に力を入れて勉強してください。やりたいことを決めて学部や学科を決めてください。単語帳を毎日勉強しました。カードに書いて、歩いている時も覚えしました。単語やリスニングのCDもいつも聞きました。センター試験の点数が開示されましたが、あと1点くらいで合格できる大学もありました。やっぱり少しでも多く勉強すべきです。センターの問題をやってください。センターの問題に対応できれば、私大も大丈夫です。とくに国語。世界史は勉強できなくて、模試でも半分もできませんでした。判定はEばかりでした。最後まで必死でやりました。問題集はできないところをチェックして、そこを重点的に覚えました。センターは模試と考えてやってください。

一浪した男子学生(立教大学文学部ドイツ専修)

気楽に行った方がよい。偏差値はあまり気にしないのがいい。学科の選び方、僕は哲学をやりたいだったので、その学科を調べて、優先順位をつかって受けました。滑り止めは二つくらい。英語は週1回出されている英字新聞を勉強しました。現代文は知識優先にならないように、文脈をたいせつに。古文は単語と接続詞をやること。漢文は句法、知らない漢字が出てきたら覚えること。日本史は私に詰め込みでした。浪人中は河合塾に行き、テキストの太字を全部覚えました。冬からは英語ができるように、それ以前に地歴を終わらせて。過去問は3年分くらい必ずやってください。過去問として勉強したものが、実際出ていました。友だちをバカにしている者は受からない。授業がある時4時間は勉強してください。授業がない時は6~8時間勉強してください。休憩は必要ですが、寝ない方がいい

いです。

この春卒業した男子学生（中央大学理工学部情報工学科）

受験生としての実感がまだないかもしれない。受験生であることを、オープンキャンパスなどで実感してください。理系はパソコンの設備などが大学によって異なるので、よく見ておいた方がいい。大学祭でわかるその大学の雰囲気も貴重だと思う。大学の選び方、偏差値、知名度、雰囲気、通学時間などいろいろ考えて。夏までに志望校や学科を決めよう。目標が明確な方がやる気が出る。絶対英語が重要。差も出る。単語や熟語など、たくさん覚えた方がいい。英語は差もつく。数学や理科は基礎ができていれば、ある程度できる。英語の教材だが、単語はソク単がおすすめです。短い英文がついているので、読解力もつきます。ターゲットもいいです。向き不向きに個人差があるので、本屋で合うものを探して。学校で使っていた英語構文の問題集が良かったです。数学は青チャート。理科はセンサーをやれば、マーチ以上に対応できる。基礎は夏までに完成させ、9月以降に過去問をやる。単語熟語も毎日やるべき。一年で大差がつく。生活リズムを朝型に。ぜったいにいいです。息抜きも必要で、ストレス解消法を考えるべき。11月頃、推薦で決まる人が出てくる。かなりあせる。それをどうやる気につなげるかが大切。帰りにおしゃべりなどすることもあがるが、無駄になってしまう。有効に時間を生かして。最後まであきらめないことが必要。中央以外は全部以外落ちた。

一浪した男子学生（東京理科大学理工学部電機電子学科）

皆さんは全範囲終わっておらず、受験生の自覚がないと思う。今は授業をしっかりと聞いて、情報を増やしていくこと。千葉のキャンパスで90分かかり、大変です。学校選びは立地も考えて。希望のことが勉強ができない人は大学をやめたりもしています。英語、単語はやらなくては話にならない。今からでもできることなので、早くやってほしい。教材は予備校の先生は単語王、僕はジーニアスを使った。一日10個とかやる方法が一般的だが、一日で全部やり、見たことがある単語を増やすという考え方もある。文法も単語同様暗記です。長文を読んで、文の接続関係が一度でわかるようにしてください。数学はCまでの人は微積分をしっかりとってください。私大はこれがメインです。手を抜くと、厳しい。現役生は行列まで手が回らないことが多いので、これができると周りに差をつけられる。数学は教科書をしっかりと身につけて。物理は単振動がよく出る。参考書はエッセンス。他の人もよく使っていた。あと、わからないところは先生に聞く。それでもわからなければ、池袋ジュンク堂で立ち読み。椅子があるから、日曜日6時間くらいいて、頭に入れた（メモを取ったりできないので）。夏期、冬期講習は行った方がいい。まわりの意識も高く、自分の力のなさがわかった。予備校の先生に習うのはよかった。9、10月になると遊びたくなる。遊びたくなったら、思い切って10時間とか遊んで、また勉強する。授業をおろそかにするのは絶対によくない。内職とかはダメ。友だちからも、授業をきちんとやっていない奴はダメだよなといわれ、それが耳に響き、姿勢を変えた。